



みなさんは夏休み中、どこか旅行に行かれましたか？編集部も、海に山に、それぞれで短い夏休みを楽しんでいたようです。

さて、今回はWWWを使うと便利な旅行の予約を取り上げてみました。これを参考にプランを練ってみてはいかがでしょうか？

LIFE WITH INTERNET

通販生活 番外編 旅とグルメの達人 愚留目 都亜

【航空券からホテルの宿泊まで ラクラク予約で海外旅行】

6月は日本でおとなしくしていた私たち夫婦ですが、6月末になると、いつの間やら旅行の計画を練っていました。というわけで、7月は2週間半ほど旅行に出かけました。

さて今回の旅行先はと言うと、私たち夫婦にとって初めての南半球、ブラジルのリオデジャネイロです。なぜブラジルのリオデジャネイロかと言うと、とにかく、丘の上に立つキリスト像をこの目で見てみたかったというのがその理由です。

計画を立ててから出発日までの間、仕事に追われていて時間が取れず、ブラジルの情報を集められませんでした。手に入れたのは、本屋で購入した某有名旅行ガイド2種類です。しかし、どちらも情報の更新がそう頻繁でないのか、実際に行ってみると情報が古くてあまり役に立ちませんでした。情報の新しさという点では、英語の本になってしまいますが、ロンリープラネットあたりがいいと思います。

サンパウロと違って、リオデジャネイロでは東洋人は珍しい存在です。5日間滞在しましたが、日本人には3、4人、東洋人全体でも14、5人しか会いませんし、街を歩いていると結構ジロジロ見られます。た

だ、ほとんどのブラジルの人たちはとても親しみ深く、笑顔で挨拶すると笑顔でこたえてくれます。念のために付け加えておくと、日本がサッカーでブラジルに勝ったのは、私たちが出国した後の話でした。もし滞在中に勝っていたら、この連載は幕を引いていたかも……なんてね。

また、ブラジルは物価も安く、地元の人向けのレストランなら、3,000円で2人でビールを飲みながら食事をして、お腹いっぱい食べ切れなくて残す、といった感じでした。旅行ガイドの古い情報を読んでいたの、当初はニューヨーク以上に危ないところかと思っていたのですが、5日たってみると、また来たい街になってしまいました。

さて、今月のLife with Internetですが、特別編として私たち夫婦が旅行するときの予約方法を紹介したいと思います。私たちは、予約にあたってインターネットと電話の両方を使って情報収集し、コストパフォーマンスを考慮して選択し、実際の予約をします。

なお、利用している顧客プログラムの好みから、航空会社はユナイテッドを、ホテル会社はハイアット、ウェスティン、ヒルトン、シェラトン、マリオットなどを、レ

ンタカー会社はハーツを使っています。あくまでも、予約方法の一例として読んでください。

今や、インターネットを利用すれば、旅行に関するほとんどすべてのことを予約できてしまいます。WWWブラウザが使える、E-mailの読み書きができれば、飛行機、ホテル、レンタカーなど、なんでもOKです。

通常、飛行機、ホテルなどの予約では、その航空会社やホテル会社の予約センターに電話をするか、旅行代理店に依頼をします。この場合、よほど根掘り葉掘りたずねないと、どのような料金のかどのようなサービスが予約可能なのかをすべて知るのには困難です。お客1人の対応に、そう長い時間はかけられないのが普通だからです。これは、たずねる先の相手が「人間」であることに問題があります。予約センターの担当者が見ている予約システムの画面の情報のすべてを、何の通訳もなしに見たいというのが私の本音です。そのためには、「人間」を相手にするより、「機械」を相手にしたほうがだいぶ楽です。そこで、インターネットによる情報検索とオンライン予約ということになるわけです。

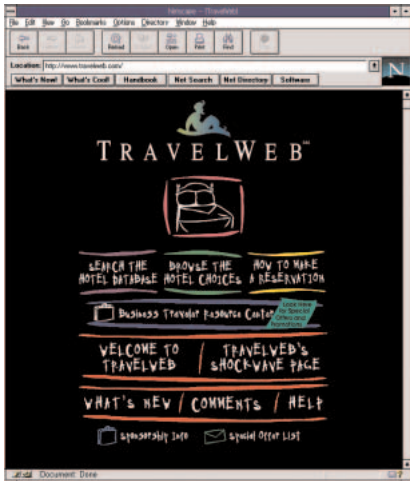
予約番号

1

ホテルの予約

URL <http://www.travelweb.com/>

▼「TravelWeb」のトップページ。ホテルチェーンを指定したり、場所を指定して、ホテルの検索が可能。



ここでは、以前このLife with Internetでも紹介したディスコのTravelWebを使ったホテルの予約を見てみます。TravelWebを以前紹介したときは、ハイアットのみ、それも情報提供だけでした。それが現在では、有名どころのホテルチェーンをだいたいの網羅し、独立系のホテルも加えて巨大なデータベースとなっています。また、そのほとんどのホテルが、WWWで予約ができます。

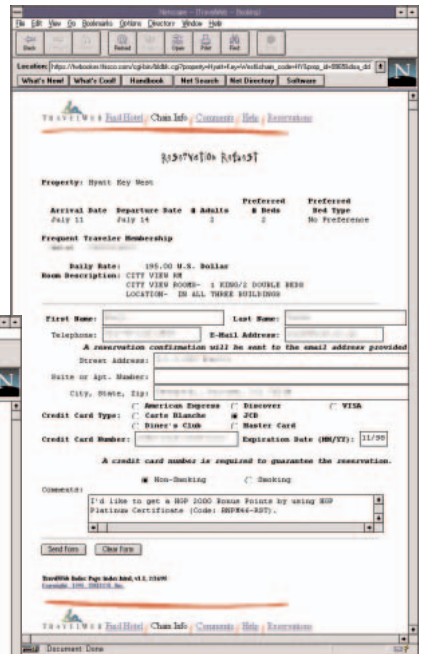
予約状況の問い合わせをすると、現在予約可能な部屋のタイプとその料金が表示さ

れます。あとは希望の部屋を選び、名前やクレジットカード情報を入力するだけで予約ができてしまいます。予約が成立すると、その旨を示すWWWが表示されるとともに、あとでE-mailで再度確認書が送られてきます。もちろん、そのホテル(チェーン)が発行した予約番号も表示されます。

また、予約のキャンセルもWWWからできます。予約をキャンセルすると、ホテル(チェーン)から発行されるキャンセル番号も表示されますので、キャンセルに対する信頼性は高いと言えます。

◀今回宿泊予定の「Hyatt Key West」のページ。住所、電話番号などの情報のほか、チェックイン/アウト時間、宿泊料金、設備などがリストされている。

▼予約状況を見るには、チェックイン/アウト日、人数、部屋の希望を指定する。またホテルの顧客プログラムの会員番号や会社契約番号などの入力も可能。検索後、予約可能な部屋の料金とその部屋の説明がリストされる。特別なプロモーション料金があれば、それも表示される。



▲希望の部屋を選んだら、この予約フォームに必要な事項を記入し、「Send Form」ボタンを押せばよい。予約が受け付けられると、その旨を示したページが表示される。

◀前のページで「See The Photo」をクリックすると、このページが表示される。ほかに、ゲストルームやレストランの写真も見られる。

▶予約後、E-mailでも予約の確認書が送られてくる。予約番号のほか、ホテルからのメッセージも表示される。



ホテルを予約する時のポイント

オンラインで調べてから電話で予約するのがベスト

私たち夫婦がホテルを予約する際は、まずWWWやオンラインサービスなどで空室状況と予約可能な部屋の価格を調べ、その後、日本の予約センターに電話をかけ、総合的に一番コストパフォーマンスが高いものを見つけます。なお、旅行会社などに予約を依頼する方法もあるのですが、その場合、部屋の種類などが把握できなかったり、予約が確定するまで時間がかかったりすることがあるので、基本的に私たちは利用しません。さらに、日本で日本円で支払うクーポンシステムのようなものも利用しません。これは、あくまでも個人的な嗜好によるものです。

WWWからの予約はTravelWebで

WWWで利用するのは、先のページでも紹介した「TravelWeb」です。私の経験から言うと、部屋の価格や部屋の説明などの情報と、各ホテルの予約センターへの電話で得られる情報との整合性が一番高いと思います。さらに、プロモーション料金やコーポレート料金も表示されるので、安い部屋が見つかる可能性も高いです。また、TravelWebでは、予約をキャンセルした際にキャンセル番号が表示されますので安心です。

今回の旅行では、キーウエストのハイアットホテルの予約をTravelWebで行いました。TravelWebで調べたとき、1泊ごとでは、予約

センターの回答と同じ料金なのですが、3泊で調べると195ドルとだけ表示されました(表1)。うまくいけば、3泊とも195ドルで泊まれるかもしれないと思い、WWWで予約しましたが、予約確認書の注釈欄に、2泊目からは215ドルになるとちゃんと書かれていました。

TravelWebで調べた後は、各ホテルチェーンのWWWページをのぞきます。ハイアットやヒルトン、ウェスティンなど、その時々プロモーション情報をWWWで提供していますので、それらをチェックするわけです。

今回のニューヨーク・ヒルトンがこの典型です。なおこの予約は、日本の予約センターへ電話をし、WWWで見た予約コードを伝えて行いました。

イーजीセーバーでオンライン予約

WWWの後には、オンラインサービスのイーजीセーバーで調べます。イーजीセーバーの情報は、結構興味深いものがあります。それは、ホテルによって、WWWや予約センターで提示される価格との整合性がまったくないことがあるからです。また、WWWや予約センターでは

満室と言われても、イーजीセーバーでは予約できることもあります。ただ、予約のキャンセル時にキャンセル番号が表示されないため、本当にキャンセルされたか不安になることがあります。その場合はキャンセルの確認をする必要があります。

日本の予約センターに電話で予約

オンラインでの情報収集の後は、日本の予約センターへの電話です。クレジットカードやホテルチェーンの顧客プログラム会員向け、あるいは日本向けの特別価格などの部屋の有無や、予約可能かどうかを聞きます。もし、それらが予約可能で、オンラインで調べたものよりよい条件なら、その場で予約してしまいます。

今回、サンフランシスコで泊まったサニーベール・ヒルトン・インがよい例で、ヒルトンの顧客プログラム会員が夫婦で宿泊する時は、シングル料金で宿泊できます。そこで、WWWなどで得た価格情報をもとに、予約センターで予約をしたわけです。もちろん、予約センターで提示される1名分の料金より、オンラインで2名分での予約をしたほうが安いこともありえます。

ホテル名	TravelWeb 予約	イーजीセーバー予約	電話予約
ハイアット・キーウエスト	1泊目 195ドル 2,3泊目 215ドル	215ドル	1泊目 195ドル 2,3泊目 215ドル
ニューヨーク・ヒルトン	1泊目 174ドル 2泊目 239ドル(1人) 209ドル(2人)	239ドル	159ドル ヒルトン・ネットで見た特別料金
サニーベール・ヒルトン・イン	2人料金 160ドル 1人料金 145ドル	2人料金 160ドル 1人料金 145ドル	145ドル 会員夫婦同室料金

表1：今回調べた宿泊料金例。

世界のモジュージャック、プレゼント！

旅行前のある日、編集部顔を出すとN編集長に呼び止められ、シリコンバレーに「Fry's」という、ある世界では超有名な電気兼コンピュータ屋があるので、そこに寄っておもしろグッズを見つけてくるべし、という命を受けました。

で、いろいろ検討した結果、電話用のモジュラー変換コネクタをいくつか買ってきました。Fry'sでは、15か国ほどの変換コネクタを売っていました。なんと、日本用もあ

りました。それは、実際には今やほとんど見かけない、昔の3芯のコンセント形式をしていました。

今回、買って来たのは、イギリス(2つ)、フランス、ドイツ、オーストラリアのもです。しかし、日本と同じように実際には古い形のもので、今や必要ないのかもしれませんが。そのときにご愛敬ということで。なお、イギリスのものは、現行のものだと確信しております。



このモジュージャックをご希望の方は、巻末の「読者カード」の記入欄9にいずれかの国名を明記してご応募ください。締め切りは9月28日到着分まで。当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。

予約番号

2番

チケットの予約

URL <http://wheat.symgrp.com/playbill/html/home.html>

次は、チケットの予約です。ブロードウェイ・ミュージカルのチケットは、主に、ブロードウェイのある劇場グループがやっているテレチャージと、アメリカ全土のイベントを一手に引き受けているチケットマスターが取り扱っています。今回テレチャージがベータテストを始めたので、さっそくチケットを予約することにしました。

サービス料としてチケット1枚につき5USドルかかりますが、これはテレチャージへの電話予約でも加算されるので、WWWでの予約と電話予約の料金は同じです。日本で

▼テレチャージの予約システムは、PLAYBILL ON-LINEのWWWの中にある。

これらのチケットを予約すると、最大でチケット価格の50%の手数料が必要になります。70USドルのチケット2枚とすると、8000円余りもの手数料です。WWWでの予約なら、国際電話で直接テレチャージに電話するより安く予約が可能ですから、利用価値は十分あると思います。

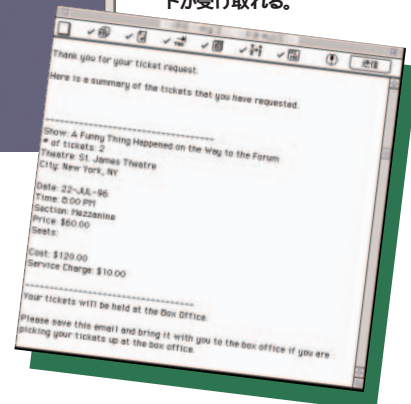
ただ私の場合、持っているクレジットカードの中に、フリーダイヤルでかけられるサービスデスクを持ち、手数料なしでチケットの予約してくれる会社があるので、実際にはこの方法が一番安いことになります。

▼これは、ある期間を指定して残席を見るときに利用するページ。曜日、昼夜の別、席種で条件付けができる。

▼これが、最終的な注文用紙。チケットは、劇場の窓口（Box Office）渡しを指定すればよい。



▼しばらくするとE-mailで確認書が送られてくる。E-mailをプリントアウトし、劇場の窓口へ持っていくように書いてあるが、実際はクレジットカードなど、本人を証明するものを見せるだけでチケットが受け取れる。



▲予約可能な座席のうち、先に指定した条件に見合ったものが表示されるので、第三希望まで選択すればよい。

◀トップページで「Order TICKETS」を選択すると、予約可能な演目リストが表示される。

飛行機のチケットを予約する時のポイント

直行便と乗り継ぎ便ではチケットの値段が違う

たとえば、日本から南米へ行く場合の買い方としては、日本から南米まで通して買う方法と、アメリカまでのチケットとそこから南米までのチケットを別々に買う方法とがあります。単純に安さを追求する場合は、後者の方法となります。特に、アジア系の航空会社の格安航空券で西海岸まで行き、そこから南米へは別のチケットを買う、というのが一番安値になります。

しかし、今回私たちが利用したのは、ユナイテッド航空のアメリカ経由ブラジル往復チケット、すなわち前者の「通し」のチケットです。この時期のユナイテッド航空の格安航空券の価格をWWWや雑誌や電話で調べると、西海岸往復約11万円、東海岸往復約12万円、南米往復約18万円という相場でした。すなわち、アメリカ-ブラジル間の往復チケットが6、7万以下で買えれば、別々に買ったほうが安くなります。

アメリカからブラジルへのチケットを探すのに利用したのは、オンラインサービスのイージーセーバーとJALNET、それにWWWのトラベロシティ (<http://www.travelocity.com/>)、ITN (<http://www.itn.com/>) です。これらのサービスでは、フライトの予約状況やチケットの価格などが検索できます。

私たち夫婦は、ユナイテッド航空の顧客制度、いわゆるFrequent Flyer Programに加入しているおかげで、夫婦でブラジルへ往復すると、日本からアメリカへのビジネスクラス2名

分のチケットがもらえる勘定となります。要するに、夫婦あわせて36万円出して、エコノミークラスでのブラジル旅行と、ビジネスクラスでのアメリカ旅行ができるわけです。最初に紹介した、西海岸で切り分けて、航空会社も別々にする方法よりも、私たち夫婦にとってはお得というわけです。

オンラインで検索して電話で申し込むのがベスト

さて、オンラインでのフライト検索と料金検索ですが、おすすめは先にも紹介したWWWのトラベロシティやITN、オンラインサービスのイージーセーバーやJALNETです。これらで検索して情報を得た後、航空会社の予約電話や旅行会社に連絡を取るようになります。

トラベロシティは、アメリカン航空系のサーバーシステムを利用しているので、出てくる情報はオンラインサービスのイージーセーバーと同じになります。トラベロシティでは予約できます。

これに対してITNは、ユナイテッド航空系のアポロ(ガリレオ)を利用しています。こちらも予約することが可能です。また、AMEXのWWWでは、このITNを利用して予約サービスを行っています。

これらのWWWサービスのユーザーインタフェイスは、だれにでも理解できるように作られているので、初心者の人でも簡単に使えるはずですが、ただ、ある区間の航空券の種類と値段を検索したり、規則をくわしく知りたい人にとっ

ては、もの足りないと言えます。

予約をする前に、料金や空き状況を再度、確認しよう

私たち夫婦が格安航空券を利用して旅行する際には、WWWやオンラインサービスを利用してフライトスケジュールと混みぐあいを調べます。その情報をもとに、旅行代理店に連絡をするわけです。

また、格安航空券以外の場合、JALNETを利用して直接予約することもあります。JALNETでの予約が不可能なところは、イージーセーバーを利用して予約をしていましたが、発券情報を入れるのに手間がかかっていました。トラベロシティやAMEX、ITNでは、その場で発券するのが原則なので、発券情報を自分で入れられるJALNETがベストだというわけです。

航空会社ごとの特別料金のチケットを購入しようとしている場合、私は最終的にその航空会社の料金課に確認の電話をします。サーバーやアポロで表示されたデータと、航空会社のシステム内のデータが違うことがありますので、この確認は必須です。

また、残席についても同様です。イージーセーバー、アポロ、JALNETなどは、主な航空会社のシステムと接続されていて、残席が常に正確に把握されている場合が多いのですが、それでも異なるデータが出る場合があります。最終的な予約方法をよく考慮し、予約をするところでの最終確認が重要だと思います。

レンタカーを予約する時のポイント

日本から海外のレンタカーを予約すると、安くなる場合がある

今回、マイアミ(キーウエスト)とサンフランシスコでレンタカーを利用しました。個人的な嗜好から、利用するのはいつもハーツレンタカーです。

私が通常取る方法は、まずイージーセーバーでレンタカー料金を調べ、次に日本ハーツの予約センターへ電話する、というものです。ハーツの場合、アメリカ以外の国の利用者向けに、

特別料金を提供しています。今回総合的に判断して一番安いのは、日本ハーツの予約センターが教えてくれたこの特別料金でした。これは、3日以上7日まで同一料金というもので、LDWという保証制度も込みです。2か所とも4日のレンタルだったので、4日分のレンタル料とLDWを計算すると、この特別料金のほうが安いというわけです。

海外旅行保険のレンタカー特約でカバーされるのは、アメリカとカナダの大手レンタカー会

社のみです。通常私たちが利用する場合は、これらの会社にすべきだと思います。これらの会社のWWWでは、予約をオンラインでできる会社もありますが、主にアメリカ国内向けを意識しているところが多く、上記のような海外向けの特別料金を反映していない傾向が強いようです。

これまで50回弱、レンタルしましたが、イージーセーバーを利用して5回程度予約した以外は、すべて日本の予約センターでの予約でした。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp